

第5次田原市行政改革大綱（案）の概要

1 行政改革の概要

- 背景・目的
- 行政改革の取組経過
 - ◆第1次田原市行政改革大綱(H17-H21)
(主な内容)新市の土台づくりのため、行政サービスの平準化や行政運営の効率化・スリム化
 - ◆第2次田原市行政改革大綱(H22-H26)
(主な内容)市民参加の促進、市民協働の精神を育む行政サービス、多様な連携を活用した行政サービスの提供
 - ◆第3次田原市行政改革大綱(H27-R1)
(主な内容)地域の自立に向けた土台づくり、市内外の連携による行政運営、市民サービスの質の向上
 - ◆第4次田原市行政改革大綱(R2-R6)
(主な内容)未来につながる新たな技術の活用、協働の取組を通じた新しいサービス(価値)の提供

2 田原市の現状

- 人口の推移・推計
- 財政状況
- 職員数の状況
- 公共施設(建築物)の状況

3 基本方針等

- 【方向性】**
- 田原市の将来都市像 「うるおいと活力あふれるガーデンシティ
～みんなが幸せを実現できるまち～」(第2次田原市総合計画)
 - 改革の理念 「有徳、独立、創意工夫」(渡辺華山)

「 变革と共に創 ～次代への適応～ 」

【主旨】

- 人口減少・少子高齢化が進行する中で、デジタル化を始めとした社会の変革へのスピード感のある対応が重要である。
- 行政ニーズが多様化・複雑化し、今後も人口減少が避けられない中で、次代(時代)に適応した持続可能な行政運営が求められている。
- 次世代につなぐため、行政だけでなく、市民や団体、事業者等と協働し、新たな価値を創造する「共創」という視点が、引き続き重要である。

【改革期間】

- 令和7年度～令和11年度(5か年)

4 改革項目(アクションプラン等)

- 主な特長**
- ◆市役所内部を含めた行政体制の再整備
 - 職場環境の見直し、行政手続等のオンライン化 等

- ◆公共施設の適正化による将来世代の負担軽減
 - 赤羽根地域、あつみライフルンド、文化財施設 等
- ◆次代(時代)に適応した行政サービスの再構築
 - 農業公園のリニューアル、窓口 DX の推進 等
- ◆未来を見据えた子育て・教育環境の向上
 - 保育園の適正化、学校プールの集約化、児童クラブの運営方法の検討 等

■第4次行政改革大綱からの移行状況： 継続7、改(見直し)7、新規 4

行政体制の再整備		継	改	新
事務の効率化	1 職員定員適正化・ワークライフバランスの充実		○	
	2 行政手続等のオンライン化		○	
外郭団体・関係団体の基盤強化	3 濡美半島観光ビューローの自立支援	○		
	4 社会福祉協議会の基盤強化支援	○		
市民サービスの再構築		継	改	新
公共施設の適正化	5 資源化センターのあり方の検討	○		
	6 赤羽根地域の公共施設の適正化	○		
	7 あつみライフルンドの機能移転の検討	○		
	8 文化財施設のあり方の検討	○		
サービス体制の見直し	9 汚水処理施設の適正化の検討		○	
	10 農業公園のリニューアル	○		
	11 市営住宅のあり方の検討	○		
	12 窓口 DX の推進		○	
子育て・教育環境の向上	13 保育園の適正化	○		
	14 学校プールの集約化	○		
	15 コミュニティ・スクールの導入促進	○		
	16 児童クラブの運営方法の検討		○	
受益者負担の適正化	17 使用料減免制度の見直し	○		
	18 上下水道料金の適正化		○	
		7	7	4

5 検討経過

開催日	会議名	内容
5月21日	◆第1回行政改革推進委員会	○市長からの諮問、○第4次大綱の進捗状況、○田原市の現状等の把握
7月2日	◇第1回研究会	○基本方針案の検討、○課題確認
9月3日	◇第2回研究会	○基本方針・体系案の確認、○アクションプラン素案の検討
9月24日	◆政策推進会議	○基本方針・改革項目の確認
10月17日	◇第3回研究会	○大綱案の確認、○答申案の検討
11月20日	◆第2回行政改革推進委員会	○答申案の確認、○市長への答申
11月28日		全員協議会(議会報告)
1月～2月		パブリックコメント実施
3月		行政改革大綱公表